



## CHAPTER 2

# Cisco Unified オペレーティング システムの 設定の変更

オペレーティング システムの次の設定を表示し、更新できます。

- [IP] : アプリケーションのインストール時に入力された IP アドレスおよびダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP) クライアントの設定。
- [SMTP] : オペレーティング システムが電子メール通知の送信に使用している SMTP ホスト。
- [IP 設定の変更方法](#)
- [NTP 設定の変更](#)
- [SMTP 設定の変更](#)
- [時刻設定の変更](#)
- [正しいタイムゾーンデータの維持](#)

## IP 設定の変更方法

- [「イーサネット設定の変更」 \(P.1\)](#)
- [「後続ノードの IP パブリッシャ ノードアドレスの変更」 \(P.2\)](#)
- [「後続ノードでの IP パブリッシャ ノードアドレス変更のトラブルシューティング」 \(P.3\)](#)

## イーサネット設定の変更

ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP) がアクティブかどうかを確認し、関連するイーサネット IP アドレスとネットワーク ゲートウェイの IP アドレスを検索できます。

### はじめる前に

- イーサネット設定はすべて Eth0 にのみ適用されます。Eth1 を対象とした設定はできません。Eth0 の最大伝送ユニット (MTU) のデフォルトは 1500 です。
- イーサネット設定を変更するとシステムはただちに再起動します。

## 手順

- ステップ 1** [Cisco Unified オペレーティング システムの管理 (Cisco Unified Operating System Administration) ] にサインインします。
- ステップ 2** [設定 (Settings) ] > [IP] > [イーサネット (Ethernet) ] を選択します。
- ステップ 3** 適切なフィールドに新しい値を入力して、イーサネット設定を変更します。

表 2-1 イーサネットの設定フィールドと説明

フィールド	説明
DHCP	DHCP が有効か無効かを示します。
ホストネーム (Hostname)	ホスト サーバの名前が表示されます。 <b>(注)</b> 次の設定の変更を完了した後にのみホスト名を変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DNS</li> <li>• Cisco Unified Communications Manager のアプリケーション サーバリスト</li> <li>• Cisco Unified Presence トポロジ</li> </ul>
IP アドレス (IP Address)	システムの IP アドレスが表示されます。 <b>(注)</b> Cisco Unified Presence のパブリッシャ サーバの IP アドレスまたはホストを変更すると、システムのパフォーマンスが低下することがあります。
サブネット マスク (Subnet Mask)	IP サブネット マスク アドレスが表示されます。
デフォルト ゲートウェイ (Default Gateway)	ネットワーク ゲートウェイの IP アドレスが表示されます。

## トラブルシューティングのヒント

DHCP を有効にすると、ポートとゲートウェイの設定が無効になり、変更できなくなります。

## 後続ノードの IP パブリッシャ ノード アドレスの変更

ネットワーク設定の目的で、Cisco Unified Presence パブリッシャ ノードの IP アドレスまたはホスト名を変更した場合、Cisco Unified Presence の後続ノードでもパブリッシャ ノードの IP アドレスを更新する必要があります。

### はじめる前に

この機能は、Cisco Unified Presence の後続ノードで異なる Cisco Unified Presence パブリッシャ ノードをポイントする必要がある場合のみ使用してください。このノードが Cisco Unified Presence パブリッシャ ノードである場合、このウィンドウを使用して IP アドレスを変更できないので注意してください。

### 手順

- 
- ステップ 1** [Cisco Unified オペレーティング システムの管理 (Cisco Unified Operating System Administration) ] にサインインします。
- ステップ 2** [設定 (Settings) ] > [IP] > [パブリッシャ (Publisher) ] を選択します。
- ステップ 3** 新しいパブリッシャ IP アドレスを入力します。
- 

### トラブルシューティングのヒント

Cisco Unified Presence の新規インストール後、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ サーバの IP アドレスを変更できます。[Cisco Unified Presence の管理 (Cisco Unified Presence Administration) ] で、[システム (System) ] > [CUCM パブリッシャ (CUCM Publisher) ] を選択します。

### 関連項目

- 「イーサネット設定の変更」 (P.1)
- 「後続ノードでの IP パブリッシャ ノード アドレス変更のトラブルシューティング」 (P.3)
- 『*Changing the IP Address and Hostname for Cisco Unified Presence*』 (Cisco.com)

## 後続ノードでの IP パブリッシャ ノード アドレス変更のトラブルシューティング

### はじめる前に

後続ノードがオフラインのときに Cisco Unified Presence パブリッシャ ノードの IP アドレスが変更された場合、その後続ノードで [Cisco Unified Presence の管理 (Cisco Unified Presence Administration) ] にサインインできなくなる可能性があるので注意してください。Cisco Unified Presence が正常に機能しない場合は、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- ステップ 1** 次の URL アドレスを使用して、後続ノードから [オペレーティング システムの管理 (Operating System Administration) ] に直接サインインします。
- `http://server-name/cmplatform`
- ここで *server-name* には後続ノードのホスト名または IP アドレスを指定します。
- ステップ 2** 管理者ユーザ名とパスワードを入力し、[送信 (Submit) ] を選択します。
- ステップ 3** [設定 (Settings) ] > [IP] > [パブリッシャ (Publisher) ] を選択します。
- ステップ 4** パブリッシャの新しい IP アドレスを入力し、[保存 (Save) ] を選択します。
- ステップ 5** 後続ノードを再起動します。
- 

### 関連項目

- 「後続ノードの IP パブリッシャ ノード アドレスの変更」 (P.2)

## NTP 設定の変更

設計上、Cisco Unified Presence の新規インストール後は NTP サーバを設定および変更できません。

## SMTP 設定の変更

### はじめる前に

システムで、たとえば証明書有効期限モニタから電子メールを送信する場合、SMTP ホストを設定する必要があります。

### 手順

- 
- ステップ 1 [Cisco Unified オペレーティング システムの管理 (Cisco Unified Operating System Administration) ] にサインインします。
  - ステップ 2 [設定 (Settings) ] > [SMTP] を選択します。
  - ステップ 3 SMTP ホスト名または IP アドレスを入力または変更します。
- 

## 時刻設定の変更

NTP が現在無効になっている場合、手動でサーバ時刻を設定できます。

### はじめる前に

サーバ時刻を手動で設定するには、設定済みの NTP サーバをすべて削除する必要があります。

### 手順

- 
- ステップ 1 [Cisco Unified オペレーティング システムの管理 (Cisco Unified Operating System Administration) ] にサインインします。
  - ステップ 2 [設定 (Settings) ] > [時刻 (Time) ] を選択します。
  - ステップ 3 システムの日付と時刻を入力します。
- 

### 関連項目

- 「[後続ノードの IP パブリッシャ ノードアドレスの変更](#)」(P.2) (P.3)
- 「[正しいタイムゾーンデータの維持](#)」(P.5)

## 正しいタイムゾーンデータの維持

Cisco Unified Presence Release 8.0 には、最新のタイムゾーン情報が含まれ、シスコは主要なタイムゾーン イベントについてお客様に連絡します。Cisco Unified Presence のインストール後、最新のアップデートとともに COP ファイルをダウンロードできます。タイムゾーンデータを正しくアップグレードする方法については、Cisco.com で Cisco Unified Presence (リリース 8.x) のリリース ノートを参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/prod_release_notes_list.html)

